

達成につながるゴール



【取組の概要】

- ・衣料品関係企業による出張授業をきっかけに、コロナ禍において「自分たちにできること」として、校内や地域で着なくなった子ども服の回収を実施。
- ・回収に向けて、ポスター等による周知、回収ボックスの作成、古着の箱詰めなど役割分担を明確にして活動。
- ・6月～11月末まで服の回収を実施し、約7,200着を発送（世界中の難民へ）。

【取組の特徴】

- ・服の回収について、低学年にも伝わりやすい絵本を作成するなど、全校で取組を推進するための工夫がなされている。
- ・近隣の店舗や保育園、児童館への呼びかけ、新聞による地域への発信など、今回の活動によって影響を受ける団体（学校外のステークホルダー）も巻き込んで取組が進められている。

【関連リンク】

<http://nakasato.sakushi.ed.jp/>

https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/sustainability/society/youth/school/power_of_clothing/





【出張授業からの学び】

- ・全世界8,000万人以上の難民のうち、半数以上が子ども
- ・足りないのは子ども服
- ・「私たちが活動すれば、たくさんの難民が笑顔になる！」



【ポスター作り①】

「どこに貼ったら、地域の人達の目にとまるかな？」



「学区内の人がよく行きそうなお店や施設に頼んでみよう！」



【回収ボックス】

「花言葉から“幸せ”の花を調べて…」
「折り紙で花を作って飾ろう！」



「どんな絵にしたら、全校のみんなが服を持ってきたくなるかな？」



【ポスター作り②】

「“服のチカラ”とSDGsを合体させて、ポスターを作るにはどうしたらいいかな？」



「真ん中を17色に色分けして塗ってみよう！」

・今まで、しまったままになっている服
・捨ててしまいそうな服
どのような服を中佐郡小学校に持ってきていただくと、世界中の難民を助けることができます。

ご協力をお願いします！

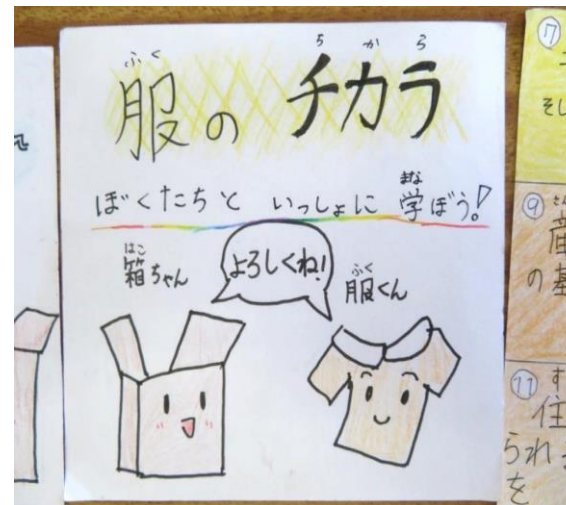


【ポスター依頼】

「近くの児童館へ、ポスターを貼ってもらえるようにお願いに行こう！」



「お迎えに来たおうちの人の目にとまる場所がいいな！」



【絵本作り】

「SDGsや“服のチカラ”について絵本を作ろう！」



「低学年にも分かりやすく伝えるために、イラストをたくさん描こう！」



【服の箱詰め】

「1箱に何着入ったかな…？」



「10着ずつ束にして入れていくと、数えやすいよ！」



【集まった服の発送】

「約7,200着集まった！」



「運送業者の方に取りに来てもらったよ！」

「みんなでトラックに積み込もう！」